

MRI 検査の紹介

《MRI (Magnetic Resonance Imaging : 磁気共鳴画像診断装置) の概要》

- ・強い磁石と微弱な電波を使って検査をします。
- ・X線を使わないので、**被ばくの心配は全くありません。**
- ・痛みなどは全くありません。
- ・大きな音がします(撮影時、防音用のヘッドホン使用)
- ・検査時間の目安です (**単純検査：20分程度** **造影検査：40分程度**)



※検査内容によっては複雑な検査もあり、より時間がかかる場合もあります。

《検査の流れ》

1.検査受付

検査予約時間 20 分前に受診受付を済ませ、放射線科受付までお越しください。原則予約制ですが、緊急の場合などはこの限りではありません。 ※多少お待ちいただく場合があります。



2.更衣

MRI 装置は強力な磁力を発生させているため、機械の近くに金属(磁性体)の物があると吸着、破損してしまう恐れがあります。このような事態を防ぐために、検査前に着替えをお願いしています。お一人での着替えが困難な場合は、担当者にお気軽にご相談ください。



3.入室

検査室の準備ができましたら、担当者のご案内します。その際に身の回りに金属がないかなど確認、問診をさせていただきます。



4.検査準備

検査台にやすんでいただき、検査する部位にコイルという機械をセットします(部位に応じた色々なものがあります)



5.検査

検査中は寝台が円筒状の装置内に入り、工事現場にいるような大きな音がするため、ヘッドフォンを装着して検査を行います(検査部位によっては耳栓を使用する場合もあります)。検査中、気分が悪くなったなど伝えたいことがある場合には、合図(フザー)を押してお知らせください。

《検査を受けることができない場合》

以下に当てはまる方は検査を受けられません。

- ・MRI 非対応のペースメーカーを使用している方
- ・植え込み型除細動器を使用している方
- ・人工内耳を埋め込まれている方 など

※MRI 対応のペースメーカーのみ対応可能
(緊急での対応は不可)

《検査を受けることができない場合があります》

以下に当てはまる方は検査を受けることができない場合があります。主治医とご相談ください。

- ・脳動脈クリップ（近年の製品は検査可能です）
- ・血管内コイル、ステント、フィルター（術後6週間より検査可能です）
- ・歯のインプラント（磁石による着脱タイプ）
- ・人工心臓弁（近年の製品は検査可能です）
- ・手術により体内に金属が残存する場合（近年の製品は検査可能です）
- ・V-P シャントバルブ
- ・その他の金属が体内にある場合
- ・妊娠または妊娠の可能性のある方（妊娠初期（器官形成期、妊娠13週まで）は、検査を避けるべきとされています）
- ・閉所恐怖症のある方

《検査室に持ち込めないもの》

項目	詳細
金属類	時計、メガネ、鍵、ベルト、アクセサリ（ピアス、ネックレス、指輪） ヘアピン、ボールペンなど
磁気カード	キャッシュカード、テレホンカード、定期券、診察券など
その他	携帯電話、補聴器、入れ歯、カイロ、湿布、万歩計、コルセット、 カラーコンタクト、マスカラ、アイシャドウ、刺青など

《その他の注意事項》

- ・検査時間に遅れて来院された場合はお待ちいただくことがあります。また、**急患の緊急撮影**などにより検査の順番が前後し、予約時間通りに検査を行えない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・MRI 検査は動きに弱い検査です。検査中は、体を動かさないようにご協力ください。検査によっては息を止めていただくこともあります。その都度、担当者の指示に従うようご協力ください。

《造影剤を使用される方へ》

- ・医師の判断により、より詳しく検査を行うために造影剤を使用することがあります。その場合には、検査前に腕の静脈に点滴用の針を穿刺し、検査の途中で造影剤を使用します。
(MRCP という検査では、経口造影剤を検査前に服用する場合があります。)

以下の方は造影剤を使用できない場合があります。事前に医師もしくは検査担当者にお申し出ください。

- 喘息の治療中または喘息になったことがある方
- 今までに造影剤を使用して気分が悪くなったり痒みが出たことがある方
- アレルギー体質の方
- 腎障害または腎機能が著しく低下している方
- 妊娠中、授乳中の方